

視聴覚教育

NO.292

発行日

15.5.16

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

ネットワークを活用した

デジタルコンテンツの活用を！

学習情報部長 石原雅充

新しい年度が始まり、二か月が過ぎようとしています。各学校、園、社会教育団体においては、それぞれの目標を掲げ、その達成に向けて着実に歩みを進めてみえることと思います。

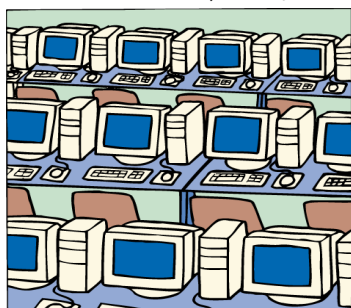
高度情報通信社会の真っ只中であって、学習者には、情報に埋没することなく、情報機器や情報を主体的に選択し、発信することが求められています。そのため、情報活用能力やメディアリテラシーを育てることが、教育現場を預かる教師の大きな役割となっています。

幸い岡崎市では、高度情報通信社会に対応する児童生徒の資質の向上を目指した環境整備が着実に進められています。昨年度は、小学校のパソコン教室整備が完了、校内ネットワークの敷設が開始されました。今年度は全中学校のパソコン教室の更新が図られます。また、文部科学省・総務省による「学校インターネット事業」による高速ネットワークの活用もあいまって、児童生徒に多様な学びの形を提供できています。

視聴覚用語
「eラーニング」「インターネットやインターネットを使った行われる双方向性を持った学習教育のことである。学習者のレベルや理解度にあわせた学習、場所や時間にとらわれない、同時に多くのものが学習できる、などのメリットがある。」

環境整備の進展に伴い、運用のためのデータの蓄積も求められています。すでに岡崎市では、一万点以上のデジタルコンテンツが登録されています。この中には、授業で利用できる動画や静止画、学習情報を収集するためのリンク集が整理されています。また、市独自で契約したネットワーク対応型の教材ソフトウェアも、常時利用できるようになっていきます。各教育現場におけるネットワークを介したコンピュータやAV機器による教育用コンテンツ（素材）の一層の利用を期待してやみません。

学習情報部は、本年度「高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう」を研究主題としました。特にネットワークを利用した学びについては、情報のリアルタイム性や共有化、シームレス（隔たりがないもの）といったキーワードをもとに、研究をさらに進めてまいります。



「視聴覚教育あれこれ」

平成十五年度

学習情報部方針決定！

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

学習メディア・パソコンの効果的な

活用法の研究

校内ネットワークの環境整備と

活用法の研究

岡崎教育ネットワークの環境整備と

活用法の研究

市自作ビデオの活用の促進と

学校独自の自作視聴覚教材の制作

視聴覚教室やパソコン教室の

総合的な管理・運営方法の工夫

教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

主任会の活動

〔広報部会〕… 授業実践や視聴覚関連の研究の

集積、研究誌や月報の発行、学

習情報部のホームページ管理等

〔研修部会〕… 各種研修会・講習会の計画・実

施や各種視聴覚教材や教育メデ

ィアの研究、機器調査等。

〔自作部会〕… 自作教材ビデオ・自作マルチメ

ディア教材の制作とその活用事

例研究等。

〔教科部会〕… 「視聴覚教材・機器利用の手引

き」の発行、ソフトの利用促進

と活用法の研究等。

「平成十五年度組織」 視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

藤井 孝弘

副所長

鈴木 省吾

職員

中根 文雄

森田 結子

学習情報部組織

部長

石原 雅充（竜南中長）

丹沢 英喜（常磐小長）

菅沼 国雄（広幡小長）

担当指導主事

小川 規博（教育委員会学校指導課）

指導員

名倉 嘉章（六北中）

杉浦 修（六小）

世話係

内藤 法雄（大門小）

小田 哲也（竜南中）

各部世話係

〔広報〕

佐渡 英彰（竜海中）

村田 貴志（甲山中）

〔研修〕

算 哲也（城北中） 杉山 康子（竜美丘）

川本 祐二（小豆坂）

〔自作〕

岡 秀之（六北中） 伊藤 研治（六美中）

坂田 健一（矢作中）

〔教科〕

島田 繁直（六北小） 内藤 法雄（大門小）

河合 泰宏（羽根小）

「レッツ・トライ」

・三教研自作教材研究会

8月7日 一色町

・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地区）

放送教育研究会

8月20日 豊橋市

・愛知県学校視聴覚教育

研究会研究発表

10月24日

蒲郡市立竹島小

・視聴覚教育総合全国大会

11月6・7日 山口市

・放送教育全国大会

11月6・7日 川口市

・松下全国視聴覚教育研究会

11月15日 滑川市

各種大会 ・研究会の案内

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。

ぜひ、積極的に加わってください。



「ライブラリーだよ」

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談・利用をお願いいたします。

教材などの配達・回収

視聴覚機材、16ミリ映画、ビデオ・レーザーディスク教材の利用を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧ください。

ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第8集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。